



鶴見
de
古楽

加藤久志

ヴィオラ・ダ・ガンバ

リサイタル Vol.2

4²⁰²⁵
10
木

ウイレム・ド・フェッシュ

2台のヴィオールのためのソナタ 第2番 ニ短調 Op.1b-2

ヨハネス・シェンク

「音楽の諧謔」Op.6より 組曲第3番 ロ短調

ヨハン・セバスティアン・バッハ

ヴィオラ・ダ・ガンバとオブリガート・チェンバロのためのソナタ 第3番 卜短調 BWV1029

アントワーヌ・フォルクレ

「ヴィオール曲集」より 組曲第3番 ニ長調 他

鶴見区民文化センター
サルビアホール3f 音楽ホール

出演：加藤久志／岡田龍之介

開場 18:30 / 開演 19:00

全席
自由席

チケットレス・事前現金振込・完全予約制
¥3,900(税込) / ペア ¥7,200(税込)

<https://pia.jp/>

チケット
ぴあ

メール申込 info@viagalleria.or.jp

購入方法についての詳細裏面 ▶



主催：(一社) VIA GALLERIA

後援：日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会／日本チェンバロ協会

加藤久志 ヴィオラ・ダ・ガンバ・リサイタル Vol.2

2023年鶴見での初ソロ・リサイタルで、マラン・マレの名曲を中心に会場を熱気に包んだ加藤久志が、第二回のリサイタルに登場します。バッハやフォルクレなどバロック盛期を代表する音楽家たちの傑作に加え、演奏会で取り上げられる機会が少ないものの、その渋みの利いた歌心や抒情が特筆に値するオランダの音楽家たち（ウィレム・ド・フェッシュやヨハネス・シェンク）の音楽をお届けします。17世紀から18世紀にかけて活躍した音楽家の名曲を、同氏の豊かな歌心に載せてお贈りします。鶴見 de 古楽がお届けするヴィオラ・ダ・ガンバのリサイタルを通じ、より奥行あるガンバ音楽の沃野をお楽しみ下さい。



Profile

加藤 久志 [加藤久志]

洗足学園音楽大学・ジャズコースをベース専攻で卒業、同大学大学院修士課程・弦楽器コースをコントラバス専攻で修了。コントラバスを藤原清登氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福澤宏、武澤秀平、小池香織の各氏に師事。2015年ニース夏期国際音楽アカデミーにてディプロマを取得。マリアンヌ・ミュラー氏のマスタークラスで学ぶ。これまでに藍原ゆき、中野哲也、ジョシュ・チータム、トーマス・バエテ、上村かおりの各氏のレッスンを受ける。2019-2020年、日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会・会報担当理事を担当。楽器は他に、エレクトリック・ベース、コントラバスでも演奏活動を行なっている。

岡田 龍之介 [チェンバロ]

慶応義塾大学経済学部卒業後、東京芸術大学楽理科卒業、同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。1983年デビュー後、全国各地で演奏活動を行い、フェデリコ・アゴ스티ーニ、シギスヴァルト・クイケン、D.ブリュッヘンら国内外の優れたソリスト、バロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。教育活動や、講演会・執筆などを通じた普及活動も積極的に進め、NHK-FM 出演。韓国ソウル国際音楽祭他、韓国やドイツにも広く客演。最近「ザロモン室内管弦楽団」や「Ars Nova 新潟」の指揮者を務める等、指揮活動にも力を注ぐ。第13・23回山梨古楽コンクール審査員。ソロCD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選)をはじめ12枚のCDをリリース。都留音楽祭講師(2017)・洗足学園大学講師(2021)古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰、鴻巣FM放送「クラシックの散歩道」メインパーソナリティー。ザロモン室内管弦楽団指揮者。日本チェンバロ協会前会長。



Information

[チケットぴあ]

Pコード : 285767

<https://bit.ly/3YXqvcd>



[ホームページ・イベント情報]

<https://bit.ly/3YG0A9E>



[銀行振込でのお支払い(およびペー券申込)]

<https://bit.ly/4fBPZDk>



電話申し込み

tel. 045-961-0813 (岡田)

メール申し込み

info@viagalleria.or.jp

お問合せ

[メール] info@viagalleria.or.jp

[電話] 045-961-0813 岡田

[ホームページ] <http://viagalleria.or.jp/>